

■ 若手技術者が実務として必要な基本知識を確認するとともに、工事管理手法等を学びました。



若手技術者が実務において活用できる施工の点検、段取り、管理手法等を習得しました。また、グループワーク形式で行うことにより、研修を通じて同世代の連帯感をより高めることができました。

- 1 日時 平成30年11月6日（火）
- 2 場所 建設ICT人材育成センター
（大垣市今宿6-52-18 ワークショップ24 4階）
- 3 対象者 岐阜県内の建設業の新人（若手等）技術者
- 4 参加者 13社 24名
- 5 内容

時間	研修内容	講師
9:30~10:00	（受付）	
10:00~12:00	「現場管理の基礎」 1) 信頼される現場技術者とは ・事例紹介および技術者の心構え 2) 基本知識習得（グループ演習） ・コンクリートの基本知識	株式会社 建設経営サービス （KKS） 講師 中村 秀樹氏
12:00~13:00	（昼食）	
13:00~16:00	2) 基本知識習得（グループ演習） ・仮設工事の安全点検方法と労働安全衛生規則の関係 ・土質、地盤の基本知識 3) 施工技術力を身に付ける演習（グループディスカッション） ・グループで簡単な演習問題を行い、実務上の技術習得	
16:00~16:30	アンケート記入	
16:30	閉講	

- 6 主催 建設ICT人材育成センター（（公財）岐阜県建設研究センター内）
- 7 CPDS 5ユニット（認定講習）

8 研修状況



講師
(株)建設経営サービス(KKS) 中村秀樹氏



“構造力学の基礎”について模型を利用して学びました。



“仮設工事の安全点検方法”について、クレーン使用時の留意点を動画を見て学びました。



グループワークでは個々の意見を出し合い、議論を行いました。時には直接講師から指導を仰ぎながら知見を深めました。



建設工事で使用する部材の構造的な特徴や強度についてグループ内で模型を利用し、ディスカッションを行うことで、理解を深めました。



最後に受講生からの中村先生へのお礼と講義感想を伝え、終了しました。

9 受講者の感想

- ・グループ内で体験、グループディスカッションを行うことでより理解することができた。
- ・実験、動画等を用いた説明が分かりやすかった。
- ・コンクリート関連の講習が非常に為になった。
- ・斜面崩壊のメカニズム等の実験動画が分かりやすかった
- ・研修でコンクリートのことを深く理解することができた。
- ・土砂崩れのメカニズムとその対策方法について、模型動画を用いることでより理解することができた。
- ・実際に実験をしたり体験をすることでより分かりやすかった。
- ・普段疑問に思わないことも、原理を理解することができ、考えることが出来てよかった
- ・信頼される技術者になれるように頑張りたい
- ・部材の特性や使用方法によって耐力が異なることに驚いた。
- ・専門用語を一つ一つ説明して頂き分かりやすかった
- ・グループで会話や議論しながら研修を受けることができ、楽しく受けることができた。

以上